

けんこう

岐阜県総合医療センターの理念

県民の皆様方に信頼され、患者様本位の安全で良質な全人的医療を提供します。

岐阜県総合医療センターの基本方針

- 1) 岐阜県の基幹病院として急性期を中心とした医療を担当します。
 - 2) 科学的根拠に基づく医療の提供と医療安全に努めます。
 - 3) 必要な医療情報を広く公開し、医療の信頼性を確保します。
 - 4) 地域の医療機関や福祉施設との連携を重視します。
 - 5) 迅速かつ確実な医療とともに、効率的な病院運営に努めます。
 - 6) 医学的知識、医療技術の研鑽に努め、医学や医療の進歩に寄与します。

さを痛感しております。

今年は、ハイブリッド手術のなかでも先進的治療である、カテーテル人工弁移植術の施行施設として認可されました。これは、大きな手術をしないでカテーテルを使って患者さんの負担を少なくして重症の弁膜症を治す画期的な治療法であり、今後岐阜県下では初めての治療施設として取り組んでまいります。

当センターはこうした高度急性期医療を担う病院としての使命があり、当センターでの急性期の医療が完了した後は、患者さんには早期の退院、転院をお願いしています。少しでも多くの重症患者さんを受け入れるため皆様のご協力をあらためてお願いいたします。

当センターの基本理念である断らない医療と患者さんに信頼される病院を堅持し、引き続き救命救急医療、がん医療、周産期医療、心臓血管医療、女性医療の五つの重点医療を中心に、高度急性期病院をめざして職員一同励んでまいります。なかでも昨年より導入した手術支援ロボット、ダ・ヴィンチを使った前立腺癌の手術もトラブルもなく順調に行われ、また内科的なカテーテル治療と外科手術を併用するハイブリッド手術も軌道に乗っています。

また、平成28年1月のオープンをめざして、重症心身障がい児病棟の建設も順調に進んでおります。建設期間中、しばらくは近隣の皆様にもご迷惑をおかけしますが建設の趣旨を汲んでご協力の程よろしくお願ひいたします。

若い新職員が、早く皆様が安心して治療を任せられる知識と技術を習得できるように、しっかりと教育してまいります。どうぞあたたかく見守ってください。

に発展してきました。

岐阜県総合医療センター

- 平成26年5月発行
 - 平成26年 春号
 - 発行責任者 滝谷博志
 - 編集 総合医療センター広報委員会

院長挨拶

岐阜県総合医療センター

理事長兼院長

博士



「総合相談センター」の ご紹介



お受けした相談にはその場でできるだけ解決できるように努めるとともに、相談内容によつてはただちに各専門の職員に引き継ぎ、患者さんが安心して満足のいく医療を受けていただけるようにお手伝いしています。

相談窓口は、エントランスを入つてすぐ右手にあり、毎日8・30から17・15まで、相談担当者が応対していくまです。総合相談センターの中は、大きくがん相談支援センターとその他の相談部門に分かれており、地域連携センター、医事課、各診療科外来、その他の後方支援（専門領域）、医療安全部と強く連携し、どんな相談にも適切に対応できる体制をとっています。

主な相談内容は次のとおりです。

治療・検査・症状などの相談、お薬の相談、セカンドオピニオンの相談、医療費などの経済的な相談、福祉サービス、健康相談、退院後の支援、その他ご意見、ご不満など

どうぞお気軽にご相談ください。



名譽院長について

4月1日に開催された法人理事会での議決により、この3月をもって退任された渡辺佐知郎前理事長兼院長が、名譽院長に就任されました。

渡辺先生は、36年にわたって当センターで勤務され、平成19年4月に当センターの院長に就任、新病棟の建設、地方独立行政法人化などに尽力されました。

今後は名譽院長として、当センターを見守っていただきたいと思います。

救急外来・表示板について

平成26年4月より、救急外来において、受診者向け「情報提供大型モニター」の運用を開始しました。救急外来受診手続きをされた方は、受付時に番号票をお渡しします。モニターでは、内科系・外科系・小児科に分かれて番号表示されますので、待ち時間の目安となります。

なお、救急搬送があった場合や重症と判断された方がおみえの場合、優先して診察いたしますので、診察順や待ち時間が変更することがあります。ご理解のほどお願いいたします。



コンビニ営業時間が22時まで延長となりました

当センター情報交流棟2階のファミリーマートは、これまで7時から20時までの営業でしたが、この4月より営業時間が延長となり、7時から22時までとなりました。



こんにちは

栄養管理部です

今年2014年は厳しい寒さが続き3月中旬にも寒の戻りがありました。が、以降は穏やかな気候により開花時期も平年より遅れることがなく美しい桜が咲きました。当院の敷地内や近隣にも桜が咲いており、その頃入院されていた患者さんも春の訪れを感じることができたかと存じます。当センターでは毎月行事食献立を実施しており、今回のコラムでは桜の満開時期にあわせて提供した4月の行事食「春の薬膳・お花見献立」を紹介いたします。

春の薬膳 お花見献立

・黒米茶飯

～色鮮やかな黒米を混ぜ、風味豊かなほうじ茶でご飯を炊き上げました～

～春の山菜と海老の天ぷら盛り合わせ～

～たらの芽、こじみ、たけのこ、海老の天ぷらです。抹茶塩で召し上がり～

・菜の花のくるみ和え

～春が旬の菜の花を不飽和脂肪酸の多いくるみで和えました～

・卵豆腐

～上乗せのクコの実は彩りだけでなくビタミンも豊富です～

・鯛の桜汁

～桜の花は見るだけでなく食べても善し、でもデザートも桜の形のものを提供しました～

※この献立は通常食です。患者さん個人の身体状況や病状にあわせた食事を提供いたしました。



編集後記

広報紙「けんこう」第28号をお届けします。今号では、滝谷新院長の挨拶のほか、この4月からのトピックスを中心にお伝えしました。

今後、取り上げてほしい情報などありましたら、お気軽にご意見をお寄せください。

岐阜県総合医療センター 広報委員会

〒500-8717 岐阜市野一色4丁目6番1号

TEL.058-246-1111 FAX.058-248-3805

Eメールアドレス info@gifu-hp.jp

ホームページアドレス <http://www.gifu-hp.jp>



この印刷物は環境にやさしい
大豆油インクを使用しています。